

委員会報告(文教厚生委員会)

令和3年度土岐市一般会計補正予算（第5号） 所管部分

質疑 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業について、対象者は何人か。

答弁 550世帯、929人を想定している。

質疑 保育園等ICT推進事業について、園と保護者とのコミュニケーションツールを導入し、どのように活用するのか。

答弁 現在、紙媒体や電話にて相互のやり取りを行っているが、コミュニケーションツールを導入することにより、園の負担軽減、保護者の利便性の向上を図ることができる。

質疑 新型コロナワクチン接種加速化支援事業について、何回の接種を想定しているのか。

答弁 土曜午後の時間外に予防接種を実施する市内20の医療機関、800回分を想定している。

質疑 ときげんきプロジェクト推進事業についてポロシャツを作製しどのように普及活動を実施するのか。

答弁 コロナ禍のフレイル予防の観点からPRポロシャツを職員、関係団体等が着用し、「ときげんき体操」の普及に努めたい。

討論 一病院化に対する市民の不安は解消されておらず、時期尚早であるため東濃中部病院事務組合負担金を含むこの予算に反対する。

土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

質疑 コロナの影響により収入が減少した被保険者等に対する減免措置の延長であるが、昨年度の実績は。

答弁 110件。減免額は、約1,890万円である。

土岐市介護保険条例の一部を改正する条例について

質疑 コロナの影響により収入が減少した第一号被保険者に対する減免措置の延長であるが、昨年度の実績は。

答弁 85件。減免額は、約670万円である。

令和3年度土岐市一般会計補正予算（第6号）

質疑 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について、対象世帯を何世帯と想定しているのか。

答弁 70世帯を想定している。

質疑 単身世帯1か月6万円の支給は妥当であるか。

答弁 各種公的支援を受けた上での追加支援であり、国の定めた金額である。

委員会報告(総務産業建水委員会)

令和3年度土岐市一般会計補正予算(第5号) 所管部分

質疑 LINEを活用した情報発信事業について、土岐市独自のメニューとはどのようなものか。

答弁 男女別、年齢層別等、市民の属性に応じ情報を発信し、特性に応じた様々なメニューを追加していきたい。

質疑 リモートによる各種事業を充実するためのミーティングボード購入について、どのような機能を備え、購入台数は何台か。

答弁 ホワイトボード、プレゼンテーション、ウェブ会議の機能を備え、購入台数は2台である。

質疑 バーチャル・オープンファクトリー構築事業について、美濃焼の製作風景等をバーチャルで体験することによって、どのような効果が得られるのか。

答弁 ウェブを通して美濃焼土岐市の魅力を発信し、観光客の増、地場産業の活性化につながる。

質疑 指定避難所感染予防対策事業について、避難所の感染予防備品を配備するということであるが、どのようなものを配備するのか。

答弁 二酸化炭素濃度を測定するCO₂センサー、血中酸素濃度を計測するパルスオキシメーター、非接触式体温計、スポットエアコン等である。

泉こども園整備事業(建築工事)の請負契約について

質疑 落札率は何パーセントか。

答弁 95.9パーセントである。



財産の取得について

質疑 落札率は何パーセントか。

答弁 92.7パーセントである。
(化学消防ポンプ自動車)



財産の取得について

質疑 落札率は何パーセントか。

答弁 94.8パーセントである。
(高規格救急車)

